

事業概要	<ul style="list-style-type: none">SDGsを達成するための「SDGs×Tech」のビジネスとしての社会実装推進地球規模の社会課題解決につながる自律分散・参加型ICTサービス創造「売り手(働き手)」、「買い手」、「世間(社会)」の「三方よし」に「地球」、「未来」を加えた「五方よし」の実現
部署	コンサルティング部門
所在地	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号青山オーバルビル16F
連絡先	(電話番号)03-5469-0141 (E-mail)info@sdgstech.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	SDGsテックは「“誰一人取り残されない社会“の実現のためのテクノロジー」を標榜しています。環境省ローカルSDGsを通し、特に「エネルギー」「サーキュラーエコノミー」「交通」の領域で、SDGsが目標とする社会の実現のために、テクノロジーができることをわかりやすく伝え、具体的な取り組みを後押ししたいと考えています。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	<table border="1"><tr><td data-bbox="432 204 564 284">分野</td><td data-bbox="564 204 2148 284">脱炭素／農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="432 284 2148 1289"><p>◆FutureLab. SDGs推進の上で課題となるテーマを毎回設定、様々な分野のゲストをお呼びした座談会を毎月開催。また、地域での実践者と各分野専門家から成るゲストコミュニティを創出、連携を促進しています。これまでのテーマ例としては「withコロナと地域振興」「地方分権とICT」「移住・二地点居住・ワーケーション」「SDGsとエネルギー」など。「●●町スペシャル」といった、ある自治体をまるごとテーマとした企画も行っており、地域課題の掘り下げと、課題解決の道筋の整理にお役立ていただいています。</p><p>◆コンサルティング 代表者やメンバーはSDGs策定以前からICTによる社会課題解決を実践してきた実績があります。5G、ブロックチェーン、AI、IoTなどの知見と、「社会課題解決サイクル」等のメソッドで、未来志向のアプローチ・ソリューション提供を行っています。例えば、イノシシ被害に悩む中山間地に対し「画像認識・解析(AI:機械学習)技術を活用した、イノシシ被害対策ソリューション」を提案、西日本のある自治体で試験的に導入いただき、効果をあげています。</p><p>◆プラットフォーム提供 社会課題解決のためのプラットフォームを構築、提供しています。</p><ul style="list-style-type: none">• 2002年にP2Pライブ配信技術でいち早くシェアの概念を打ち出した「ShareCast」• 2005年のEXPOエコマネーを発展させたエコポイントPFの「EcoCa」• 2011年の節電プラットフォームを拡張したエネルギー×IoT「SmartPower」<p>例えば、サーキュラーエコノミーの実現のために、EcoCaを地域通貨のPFとして展開・活用することが可能です。また、エネルギーの地産地消モデルの確立、推進を、SmartPowerの活用が効率的に後押しします。</p></td></tr><tr><td data-bbox="432 1289 564 1369">URL</td><td data-bbox="564 1289 2148 1369">https://sdgstech.jp/</td></tr></table>	分野	脱炭素／農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー	<p>◆FutureLab. SDGs推進の上で課題となるテーマを毎回設定、様々な分野のゲストをお呼びした座談会を毎月開催。また、地域での実践者と各分野専門家から成るゲストコミュニティを創出、連携を促進しています。これまでのテーマ例としては「withコロナと地域振興」「地方分権とICT」「移住・二地点居住・ワーケーション」「SDGsとエネルギー」など。「●●町スペシャル」といった、ある自治体をまるごとテーマとした企画も行っており、地域課題の掘り下げと、課題解決の道筋の整理にお役立ていただいています。</p> <p>◆コンサルティング 代表者やメンバーはSDGs策定以前からICTによる社会課題解決を実践してきた実績があります。5G、ブロックチェーン、AI、IoTなどの知見と、「社会課題解決サイクル」等のメソッドで、未来志向のアプローチ・ソリューション提供を行っています。例えば、イノシシ被害に悩む中山間地に対し「画像認識・解析(AI:機械学習)技術を活用した、イノシシ被害対策ソリューション」を提案、西日本のある自治体で試験的に導入いただき、効果をあげています。</p> <p>◆プラットフォーム提供 社会課題解決のためのプラットフォームを構築、提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none">• 2002年にP2Pライブ配信技術でいち早くシェアの概念を打ち出した「ShareCast」• 2005年のEXPOエコマネーを発展させたエコポイントPFの「EcoCa」• 2011年の節電プラットフォームを拡張したエネルギー×IoT「SmartPower」 <p>例えば、サーキュラーエコノミーの実現のために、EcoCaを地域通貨のPFとして展開・活用することが可能です。また、エネルギーの地産地消モデルの確立、推進を、SmartPowerの活用が効率的に後押しします。</p>		URL	https://sdgstech.jp/
分野	脱炭素／農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー						
<p>◆FutureLab. SDGs推進の上で課題となるテーマを毎回設定、様々な分野のゲストをお呼びした座談会を毎月開催。また、地域での実践者と各分野専門家から成るゲストコミュニティを創出、連携を促進しています。これまでのテーマ例としては「withコロナと地域振興」「地方分権とICT」「移住・二地点居住・ワーケーション」「SDGsとエネルギー」など。「●●町スペシャル」といった、ある自治体をまるごとテーマとした企画も行っており、地域課題の掘り下げと、課題解決の道筋の整理にお役立ていただいています。</p> <p>◆コンサルティング 代表者やメンバーはSDGs策定以前からICTによる社会課題解決を実践してきた実績があります。5G、ブロックチェーン、AI、IoTなどの知見と、「社会課題解決サイクル」等のメソッドで、未来志向のアプローチ・ソリューション提供を行っています。例えば、イノシシ被害に悩む中山間地に対し「画像認識・解析(AI:機械学習)技術を活用した、イノシシ被害対策ソリューション」を提案、西日本のある自治体で試験的に導入いただき、効果をあげています。</p> <p>◆プラットフォーム提供 社会課題解決のためのプラットフォームを構築、提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none">• 2002年にP2Pライブ配信技術でいち早くシェアの概念を打ち出した「ShareCast」• 2005年のEXPOエコマネーを発展させたエコポイントPFの「EcoCa」• 2011年の節電プラットフォームを拡張したエネルギー×IoT「SmartPower」 <p>例えば、サーキュラーエコノミーの実現のために、EcoCaを地域通貨のPFとして展開・活用することが可能です。また、エネルギーの地産地消モデルの確立、推進を、SmartPowerの活用が効率的に後押しします。</p>							
URL	https://sdgstech.jp/						
上記ソリューションを提供できる地域について	全国						

自者の特徴	<ul style="list-style-type: none">◆ライブ配信シェアプラットフォーム「ShareCast」 コミュニティFMやCATV局と連携したグローバルネット配信支援 地方スポーツ競技のネット配信等 ◆エネルギー「SmartPower」 2011年の東日本大震災後の地域節電プログラムへのPF提供 栃木県や足利市の庁舎のエネルギーマネジメント支援等 ◆サーキュラーエコノミー「EcoCa」 2005年の愛・地球博で実施された環境通貨の実験事業 EXPOエコマネーを始め、世田谷区の生涯現役ポイント等 東松山市の健康増進&エコポイント事業等 <p>上記のソリューションを活用を念頭に、 九州大学×糸島市のサイエンスビレッジ構想の推進などの地域連携プログラムに参加しています。</p>
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	—